

岡谷市風しん抗体検査について

抗体検査
予防接種
無 料

1 風しん（別名：三日はしか）とは？

風しんは、風しんウイルスによっておこる急性の発疹性感染症で、風しんへの免疫がない集団において、1人の風しん患者から5～7人にうつす強い感染力を有します。風しんウイルスの感染経路は、飛沫感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播します。潜伏期間は2～3週間で、発熱や発疹、リンパ節の腫れなどの症状が現れます。まれに脳炎、血小板減少性紫斑病などの合併症が、2,000人～5,000人に1人くらいの割合で発生することがあります。

大人がかかると高熱や発疹が長く続いたり、関節痛を認めるなど子どもより重症化することがあり、決して軽視はできない疾患です。

妊婦が、妊娠早期に風しんにかかると、先天性風しん症候群と呼ばれる病気により、心臓病、白内障、聴力などに障がいがある赤ちゃんが生まれる可能性があります。

家族、職場などに妊娠の可能性のある女性がいる方は、特に注意が必要です。

2 今回の抗体検査の対象とならない方

- ① 過去に風しんにかかったことがあり、検査でかかったことが証明されている
 - ② 過去に風しんの予防接種（風しん単独、麻しん風しん混合、麻しんおたふくかぜ風しん混合など）を受けたことがあり、その記録が残っている
 - ③ 平成26年4月以降に風しん抗体検査を受け、「陽性」の記録がある
- *①～③に該当する方は、証明する記録があることを電話等で岡谷市健康推進課へご連絡ください。
- ④ 令和5年度までにクーポン券を使用し、抗体検査および予防接種を受けている

3 抗体検査はせず、第5期予防接種の対象となる方

平成26年4月以降に風しん抗体検査を受けた結果、「陰性」の記録があり、予防接種を受けていない。⇒ 陰性の記録と予防接種のクーポン券を持って医療機関で予防接種を実施してください。その際、電話等で岡谷市健康推進課へもご連絡ください。

4 推奨期間

令和7年2月28日まで

今年度で終了になります！

※実施期間は令和7年3月末までですが、抗体がない場合には予防接種も必要となるため、2月までの受診を推奨しています。なお、以前お送りしたクーポン券は使用せず、今回お届けしたものをご使用ください。

5 費用

抗体検査：無料（血液検査です。他の血液検査と一緒にできる場合もあります）

予防接種：無料（抗体検査の結果、国が定める基準値を満たさない場合のみ予防接種を実施）

6 検査・接種の際に持参する物（抗体検査・予防接種共通）

本人確認書類…生年月日や住所の印字があり、本人確認できるもの

運転免許証、マイナンバーカード、住民基本台帳カード（住所が記載）など

ク ー ポ ン 券…本通知に同封している抗体検査および予防接種のクーポン券（A4サイズ）

風しん抗体検査結果書類…風しん抗体検査が「陰性」で「定期接種対象」と判定された方

※結果書類の受取方法は、検査を受けた場所（医療機関、健診会場等）により異なりますので、検査の際にご確認ください。

岡谷市内の風しん抗体検査及び予防接種実施医療機関

※特定健診や事業所健診、人間ドック等の採血（血液検査）で抗体検査も併せて受けることができますので、健診時にクーポン券をご持参ください。
詳しくは勤務先の健診担当者または受診する医療機関へ、事前にお問い合わせください。

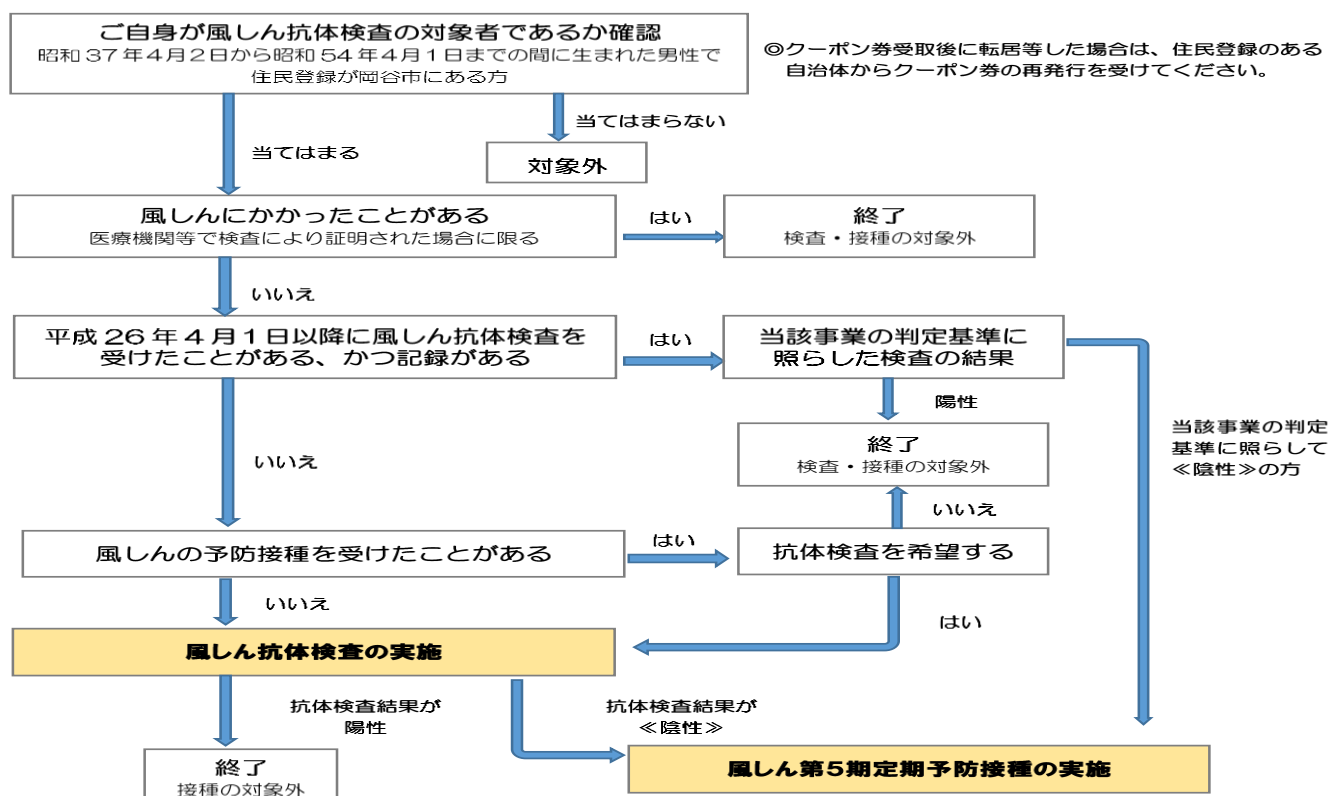
実施機関名(五十音順)	所在地	電話番号	風しんの抗体検査	第5期の定期予防接種
出早クリニック	長地出早 2-4-6	78-8152	○	○
今井内科胃腸科クリニック	今井 1211	24-8688	○	○
牛山医院	天竜町 3-2-23	78-1192	○	○
岡谷市民病院	本町 4-11-33	23-8000	○	○
岡谷市民病院健診センター	本町 4-11-33	23-8050	○	×
釜口医院	天竜町 3-12-22	22-2089	○	○
酒井医院	本町 2-1-2	22-2121	○	○
諏訪湖畔病院	長地小萩 1-11-30	27-5500	○	○
つるみね共立診療所	川岸上 1-22-21	22-6680	○	○
花岡医院	天竜町 3-20-28	22-3525	○	○
林外科医院	長地小萩 3-12-27	28-1200	○	○
林内科・循環器科クリニック	長地小萩 3-12-24	26-8100	○	○
向山内科医院	塚間町 1-2-20	23-6272	○	○
山崎医院	東銀座 1-8-19	22-3287	○	○
祐愛病院	南宮 2-2-34	23-0222	○	○

※風しん追加対策事業を行っている全国の医療機関で抗体検査及び予防接種ができます。

※岡谷市外の実施医療機関は、厚生労働省ホームページでご確認ください。

★検査・接種の流れについて

検査から予防接種までは、以下のとおりの手順で行います。



麻しん風しん混合ワクチン予防接種が必要となった場合にお読みください

●風しん第5期で使用するワクチンは、麻しん風しん混合ワクチンを接種します。現在、海外において麻しんの流行が報告されています。麻しん風しん混合ワクチンを使用しますので、麻しんの予防にもなります。

1 麻しん風しん混合ワクチン予防接種の効果と副反応について

風しんの予防のためには、予防接種で免疫をつけることが最も有効な予防方法といえます。

ただし、予防接種により、軽い副反応がみられることがあります。また、極めて稀ですが、重い副反応がおこることがあります。予防接種後にみられる反応としては下記のとおりです。

【麻しん風しん混合ワクチンの主な副反応】

主な副反応は、発熱(接種した者のうち20%程度)や、発疹(接種した者のうち10%程度)です。これらの症状は、接種後5～14日の間に多くみられます。接種直後から翌日に過敏症状と考えられる発熱、発疹、掻痒(かゆみ)などがみられることがありますが、これらの症状は通常1～3日でおさまります。ときに、接種部位の発赤、腫れ、硬結(しこり)、リンパ節の腫れ等がみられることがありますが、いずれも一過性で通常数日中に消失します。稀に生じる重い副反応としては、アナフィラキシー様症状(ショック症状、じんましん、呼吸困難など)、急性血小板減少性紫斑病(紫斑、鼻出血、口腔粘膜の出血等)、脳炎及びけいれん等が報告されています。

2 予防接種を受ける前に注意すること

《一般的な注意》

- ① 予防接種は、健康な人が元気な時に受け、その病原体の感染を予防するものですので、体調が良い時に受けるのが原則です。何か気にかかることがあれば、あらかじめかかりつけ医にご相談ください。
- ② 当日の体調をよく観察し、普段と変わったことがないことを確認してください。
- ③ 予診票は接種してくださる医師への大切な情報です。責任を持って記入してください。記入漏れのないようにお願いします。
- ④ 麻しんにかかった場合は、治ってから4週間以上経っていないと予防接種は受けることができません。
- ⑤ おたふくかぜ・水ぼうそうにかかった場合は、治ってから2～4週間以上経っていないと予防接種は受けることができません。
- ⑥ 手足口病・インフルエンザ・嘔吐下痢症等のウイルス性疾患にかかった場合は、治ってから1～2週間以上経っていないと予防接種は受けることができません。
- ⑦ 家族や仲間に麻しん・風しん・水ぼうそう・おたふくかぜ等病気の人がいた場合、病気の潜伏期間中の可能性があります。潜伏期間中の場合は接種ができません。
- ⑧ 生ワクチン(BCG、水痘、おたふくかぜ、黄熱ワクチンなど)を接種した後は、27日以上接種間隔をあける必要があります。

《予防接種を受けることができない人》

- ① 明らかに発熱がある人
一般的に発熱とは、接種場所で測定した体温が37.5℃以上の場合をさします。
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
急性の病気で薬を飲む必要があるような人は、その後の病気の変化もわかりませんので、その日は見合わせるのが原則です。

- ③ その日に受ける予防接種によって、又は予防接種に含まれる成分で、アナフィラキシーを起こしたことがある人
「アナフィラキシー」というのは通常接種後約30分以内に起こるひどいアレルギー反応のことです。発汗・顔が急に腫れる・全身にひどいじんましんが出るほか、吐き気・嘔吐・声が出にくい・息苦しいなどの症状に続きショック状態になるような激しい全身反応です。
- ④ その他、医師が不適当と判断した場合
上記①～③に入らなくても医師が接種不適当と判断した時は接種できません。

《予防接種を受けるに際し、医師とよく相談しなくてはならない人》

次に該当すると思われる人は、主治医の先生がいる場合は必ず前もって受診し、予防接種を受けてよいか判断していただく、あるいは診断書又は意見書をもらってから接種に行ってください。

- ① 心臓病・腎臓病・肝臓病・血液疾患などの基礎疾患がある人
- ② 以前に受けた予防接種で、接種後2日以内に発熱がみられた人及び発疹、じんましんなどのアレルギーと思われる異常が見られた人
- ③ 薬の投与を受けて皮膚に発疹が出たり、体に異常をきたしたことがある人。
- ④ 今までにけいれん(ひきつけ)を起こしたことがある人
けいれんの起こった年齢、その時熱があったか、なかったか、その後起こっているか、受けるワクチンの種類は何かなどで条件が異なります。必ずかかりつけ医と事前によく相談してください。
- ⑤ 過去に免疫不全の診断がされている及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- ⑥ この予防接種の成分に対して、アレルギーを起こすおそれがある人

《周りに妊婦さんがいる方》

ワクチンを接種した人の咽頭(のど) から接種1～2週間後にワクチンウイルスが出てくることがありますが、周りの人にうつることはありませんので、妊婦さんの家族の方が接種を受けられても心配はありません。むしろ、妊婦さんの家族で風しんの免疫を持っていない方は、早めに予防接種を受けておくことが推奨されます。

3 予防接種を受けた後の注意

- ① 接種後 24 時間は副反応に注意してください。体調に変化がありましたら、すぐに医師の診察を受けてください。
- ② 入浴は差し支えありませんが、接種当日の激しい運動は控えてください。

4 予防接種健康被害救済制度について

接種を受けたワクチンの種類によっては、けいれん、肝機能障害及び急性散在性脳脊髄炎等の健康被害が生じることがあります。このような健康被害を、厚生労働大臣が、予防接種法に基づく定期予防接種による副反応であると認定した場合は、市町村が健康被害救済に関する給付を行う制度があります。

◆◆不明な点や心配なことは、岡谷市健康推進課へお問い合わせください◆◆

電話(0266)23-4811 内線1177

(午前8時30分～午後5時15分 土・日・祝日・年末年始は除く)